



防災講座

「家庭の整頓」など防災は日頃の備えから
 できることから始めよう



10月14日(土)に防災部主催の出前講座「家庭の備えと地域の連携」と題し、30名弱の参加で開催されました。

松本市の危機管理課より、懸念される地震、自助・共助・公助による減災、避難所や水害対策について講義を受けました。

この中で、ここ松本(糸魚川―静岡構造線断層帯)は、全国の活断層で最も地震発生確率が高く、地震はいつおきてもおかしくない地域であるとのこと。また過去の例から大小河川の水害も懸念されます。

災害を防ぐこととはできませんが、被害を減らすことはできます。自宅の耐震化や家具の転倒防止、松



本市防災マップを参考にした安全確保や生活必需品の備蓄などが大事です。また、地域で助け合う自主防災活動と消防や市等の救助支援がセットでの取り組みが大切と話されていました。

まずは、家庭で地域で常日頃から防災意識を高め、できることから取り組んでいくことの必要性を改めて強く感じました。

お知らせ

叙位叙勲

正六位瑞宝双光章を受賞
 内川渥海氏(9月21日逝去)
 ○男のふれ健の伴奏者は相澤和子氏(相澤ピアノ教室)
 に女鳥羽の会講師は、伊東幸子氏(カラオケ講師)になりました。



我がまちの自慢

地域に少しでも役立てれば

● 葭町町会 唐木 栄一さん

葭町の唐木栄一さん(75歳)に「地域への思い」についてお聞きしました。

―仕事と役員歴は。

親が建築の仕事に携わっていたことから自然とその道に入り、現在も建築の仕事をしていただいております。

葭町には中学校卒業までおり、高校は建築科のある長野市で過ごしました。卒業後、都内や松本市内の会社で5年程勤め、昭和40年に親の経営する会社に入り50年になります。

葭町には昭和55年頃家族4人で惣社から転居。翌56年の防災部長に始まり平成27年に町会長を退任するまで役員を

務めさせていただきました。

その間、県道拡幅やそれに伴う葭町公民館の移転新築、町会連合会では社会福祉協議会の総務として、皆様に大変お世話になりました。

―子供の頃の思い出は。

昭和26年、清水中学校が現在地へ開校し、清水小学校が中学校の校舎で開校されました。当時、私は小学校3年で旭町小から清水小に転校となりましたが、まだ清水中学が新築工事のため教室が足りず、旭町から移った4町会が各学年1クラスずつ、始業式は清水の校舎で授業は旭町の校舎への通学と、10月頃まで変則な状態で過ごしました。

町内の同年10数人が1年間同じクラスとなる珍しい経験でしたが、皆で楽しく過ごしたことを覚えております。

―単信坊の世話人として。

平成12年、単信坊が改修され、この機会に10数年途絶えていた縁日を再開したらと、近隣3町会と林昌寺住職が相談して世話人会を発足、私も改修に携わったことから参加させていただきました。

子供の頃、単信坊の縁日であんころ餅をいただいたことが懐かしく「あんころ餅の単信坊」が地域の文化として永く続けられればと、今後も世話人会の皆さんと共に頑張っていきたいと思っております。

今もまさしく現役。「町会役員もお世話になっていながら、単信坊の世話人も改修に携わったから」と謙虚。また取材中も頻繁に仕事の連絡が入るなど多忙にもかかわらず笑顔でご対応いただく姿にその人柄が垣間見えました。



頑張る町会活動

三町会共催の「出張ふれ健」

今年が節目の10回目



出居番町・片端町・東町2丁目共催の「ふれあい健康教室」が、10月20日(金)に三町合同公民館で30名を超える参加者により開催されました。

町会の交流・親睦による話題作りと健康づくりが目的で、今回が節目の10回目(年1回開催)。平成13年末に完成した三町合同公民館で、何かできることはないか、と言う事で始まったのがきっかけ。

今回は、健康づくり課、福祉ひろばの協力のもと、ラジオ体操や輪投げ茶話会等で楽しみ、笑顔が絶えなくなりました。



第21回 東部地区文化祭

平成29年 11月11日(土)12日(日)



餅つき



豚汁振る舞い



力作揃い
作品展示

盛り上がる
会場



子ども縁日



ミニコンサート



わたあめ



清水中学校合唱部



熱唱！熱演！
ステージ発表



東部コーラスオーロラ



東部ハーモニカクラブ



ミュージックベル



松本ファイブスターSDC



パラダイス



あじさいコーラス

※文化祭の様子につきましては、ここに掲載されている以外の写真も東部公民館にて掲示予定です。